

京の知財エンジニアリングセミナー開催報告

ものづくり企業にとって知的財産権(特許権・商標権等)の活動は、自社の製品・技術を守る手段という位置付けに加えて、他社の権利を侵害するリスクを低減すること、技術情報源や広告・信用向上など企業価値向上活動の一環として積極的に活用していく方向に進んでいます。

そこで京都府中小企業技術センターでは、ものづくり企業における知的財産権活動の担い手である技術者を対象に、『特許調査・発明の発掘・提案できる技術者の育成』を掲げ、平成22年度より、**京の知財エンジニアリングセミナー**を開催しています。

(共催:公益財団法人京都産業21。協力:近畿知財戦略本部、一般社団法人京都発明センター)

平成25年度「京の知財エンジニアリングセミナー」では、10月から12月にかけて、実習・実践型の全6回のセミナーを開催し、京都府内の技術者・特許担当者の方々に、企業の開発活動において必要な知的財産権活用のスキルを身に付けていただきました。

セミナーの概要

●第1回 平成25年10月4日(金)

- ・技術者に必要な特許の基礎知識(講義)

特許庁産業財産権専門官 佐藤 ちづる 氏

- ・「発明」とは何か(講義と実習)

中小企業技術センター副主査 宮内 宏哉



第1回/特許庁 佐藤氏の講演

●第2回 平成25年10月10日(木)

- ・特許情報検索 基礎編(講義)

- ・公報テキスト検索(実習)

一般社団法人京都発明協会 知財支援アドバイザー 北川 俊治 氏

●第3回 平成25年10月29日(火)

- ・発明の発掘(講義と実習)

- ・発明の展開(講義と実習)

京都産業21 経営支援相談員 伊地知 憲二 氏



第2回・第4回/インターネットを使ってIPDL検索実習

●第4回 平成25年11月12日(火)

- ・特許情報検索 応用編(講義)

- ・特許分類と特許分類検索(実習)

一般社団法人京都発明協会 知財支援アドバイザー 北川 俊治 氏

●第5回 平成25年11月21日(木)

- ・明細書に必要な技術データ(講義と実習)

- ・実用新案・意匠・商標の活用法(講義と実習)

中小企業技術センター副主査 宮内 宏哉

●第6回 平成25年12月5日(木)

- ・明細書の見方(講義と実習)

- ・発明提案書の書き方(講義と実習)

京都発明協会 前専務理事 伊地知 憲二 氏



第1回・第5回/企業をまたいでのグループワーク

これまでの参加者からは、

- ・すぐに実務に応用できる内容でよかった。コツ、テクニック、注意点まで分かった。
- ・書き方・審査のされ方という視点で説明いただき、理解が深まった。
- ・社内では聞けない内容があった。いろいろな着眼点や考え方を知ることができた。
- ・技術者の方に受講を勧めたい。実践的な内容で役立つ。

などの感想を頂いております。

来年度も同時期に開催を予定しています。

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画・情報担当 TEL:075-315-8635 FAX:075-315-9497 E-mail:kikaku@mtc.pref.kyoto.lg.jp